

ほほえみ



桐生厚生総合病院

(編集 院外広報編集委員会)

〒376-0024 群馬県桐生市織姫町6番3号
TEL:0277-44-7171(代) FAX:0277-44-7170
URL: <http://www.kosei-hospital.kiryu.gunma.jp/>



基本理念

信頼され、心が通う地域医療

基本方針

1. 患者さんの権利を尊重します。
2. 患者さん自身で治療を選べるよう、わかりやすく十分に説明します。
3. 地域の急性期医療を担います。
4. 地域の医療・介護機関と緊密に連携します。
5. 診療の質を高めるため、研鑽・研修に努めます。
6. 医療の安全確保に努めます。
7. 効率的で健全な病院経営を目指します。
8. 職員が誇りを持って働ける病院を目指します。

院長就任挨拶

院長 くわ しま 桑島 まこと 信



平成29年4月から院長に就任しました桑島です。

小児科医として平成1年より当院に勤務しており、この間、周産期医療を中心とした小児医療の他、院内では病院感染対策・輸血管理体制構築などに関わって参りました。

さて今回、新しい執行部で病院の理念・基本方針を見直し、理念を「信頼され、心が通う地域医療」としました。

近年、医療・介護を巡る状況は大きく変化しています。日本全体の人口構成は少子化と平均余命の延長により、高齢者の割合が増えて医療・介護の需要が増大しています。一方、労働人口の減少、高度医療の発展による医療費増加などの状況から、国の施策は地域包括ケアシステムの推進、医療費抑制、急性期病床削減に動いています。以前までのような医療・介護サービスの利用・運営は困難になってきました。具体的には、当院のような急性期病院は、①開業の先生方から紹介のあった患者さんに受診していただき、②必要な検査・診断、急性期医療を行い、③該当する疾患の治療により症状が改善すれば、自宅あるいは回復期病床に速やかに退院していただく、という流れに沿って、できるだけ短期間の入院医療を行うことが求められています。慌ただしい医療となるため、地域の医療・介護・生活支援・行政の方々とのさらに緊密な連携が必要です。

こうした状況の中で、当院がこの地域で急性期医療の中核病院として機能していくこと、忙しい中でもできるだけ皆様の気持ちに寄り添うこと、診療の質を向上させ皆様の信頼を得られる病院であること、これらを実現すべく当院の理念をかかげ、病院職員一同、なお一層の努力をして参ります。

今年度の病院のトピックスは、5月から運用を開始した高精度放射線治療装置です。昨年半ばから機器更新のために放射線治療を中断せざるを得ず、大変ご迷惑をおかけしました。今年2月に開催しました高精度放射線治療を主題とした市民公開講演には予想を超える沢山の市民の方にお集まりいただき、皆様の新しいがん治療に寄せる熱い思いを肌で感じました。この装置は、少ない副作用で最大の治療効果が得られる最新機種で、ご期待に応えることができると自負しております。是非、ご相談ください。

今後とも、皆様の変わらぬご理解、ご支援をお願い申し上げます。

副院長就任挨拶

平成29年4月から副院長を拝命しました。これまでは、放射線科部長として放射線部門を中心に院内での役割、業務のあり方を検討してきましたが、これからは視野をより拡げて院内のいろいろな部署の連携、さらには地域との連携も考える立場になりました。

桐生医療圏は県内の中でも高齢化が進み、人口が減少する地域と予想されています。その地域性を考慮した医療構想である「桐生厚生総合病院新改革プラン」をもとに、当院も変革していく必要があります。幸いなことにこれまでに私が当院で一緒に仕事をしてきたほとんどの方々がこの病院を良くしたいとの気持ちを持っています。そして、何かしら協力できることを探しているように思えます。それを上手にコーディネートし、改善・改革のために必要な具体的な対応を少しずつでも確実に、継続的に実施していければと考えています。

さらには、院内だけではなく桐生市医師会・歯科医師会、桐生市・みどり市、この地域の方々等との連携も強化していく必要があります。その具体的な取り組みに対する体制を速やかに整えていくことが重要と考えています。

これからも地域の基幹病院としての役割を維持し、当院の新たな基本理念である「信頼され、心が通う地域医療」を実践していけるよう、私ができることを実行して、残されている期間を駆け抜けてみたいと思っています。



副院長

たか はし みつ ひろ
高橋 満弘

事務長就任挨拶

皆様こんにちは。平成29年4月から事務長に就任いたしました須田と申します。平素は、桐生市・みどり市の市民の皆様をはじめ、県内外からも多くの皆様が当院をご利用くださり、心から厚く感謝とお礼を申し上げます。

私は桐生市職員として当院に派遣され、通算いたしますと今年で10年目となります。この間、感染対策、医療安全、救急医療等々様々な業務に関わって参りました。

今後は、本地域の中核病院として、急性期の病院機能を維持していくことを第一の使命と考え、まずは平成30年度に行われる診療報酬と介護報酬同時改定に向けた取り組みに全力を挙げていきたいと思っております。

また、病院内で事務方ができることとしては、医療の最前線で働く医師をはじめとする医療スタッフが、少しでも働きやすい職場として実感できるような職場環境の改善にも取り組んでいきたいと考えております。こうした職場環境の整備を行うことも、地域住民の皆様への良質な医療を安全かつ継続して提供でき、そして多くの患者さんが安心して公平、公正な診療を受けられることに繋がるのではないかと考えております。

これからも、当院が地域住民の皆様方に健康と安心を提供し、常に信頼される病院であり続けられるよう、桐生市医師会をはじめ、桐生市歯科医師会、桐生市薬剤師会、その他多くの関係者の皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げます。



事務長

す だ まもる
須田 守

診療科の紹介

小児科

小児科診療部長 おお き やす し
大木 康史



小児科は、子どもの全身の内科的治療を行い、さらには心の問題も一部対応するので、「子どもの総合医」とも呼ばれます。対応する子どもの範囲も、生まれたばかりのあかちゃんから中学生まで、体重1kgに満たないあかちゃんから大人並みの60kgのお子さんまでとても幅広いのが特徴です。また、乳児健診や予防接種、最近の社会問題でもある子どもの貧困や虐待への対応を含む母子保健と呼ばれる分野も小児科医が担当します。このように小児科は、幅広く子どもの病気に対応し、子どもが健やかに育つことをお手伝いする科とお考えください。

当院小児科は産科と協力して妊婦さんとあかちゃんを診療する周産期医療に力を入れています。新生児センターは設備・人員ともに高度に整備され、群馬県から地域周産期母子医療センターの指定を受けているうえに、県内では4ヶ所のみで新生児特定集中治療室管理加算の認可施設です。小児科病棟では肺炎や喘息、胃腸炎といった一般的な子どもの入院患者さんの診療を行っています。院内には県立赤城特別支援学校の分教室があり、長期入院のお子さんが通学しながら治療を受けることができる東毛地域唯一の病院です。外来診療は、午前には主に地域の開業の先生方からご紹介いただいた急性の病気を診療し、午後は慢性的な病気に対応する予約制の専門外来を開いています。専門外来は、神経・血液、循環器、新生児・発達、喘息・アレルギーは常勤医が担当し、群馬大学からの応援で内分泌・代謝、腎臓、喘息・アレルギーの専門外来もあり、子どもの病気の多くに対応しています。さらに近年増えている食物アレルギーの専門的診療や発達障害・子ども虐待への対応なども整備を進めているところです。

医師は現在桑島院長含めて9名が常勤医として勤務しており、平日夜間は1名、休日は終日2名で当直体制を組んでいます。院内には必ず小児科医がいますので、24時間体制で患者さんの受け入れが可能です。ただし、夜間休日で病気のおかちゃんの入院と救急外来への子どもの受診が重なったときは、救急外来でお待たせすることもあるかもしれません。また、軽い症状で救急外来に受診される子どもさんが多すぎると、入院している重症の患者さんに手が回らなくなる可能性があります。まずは、桐生市医師会の※1平日夜間急病診療所を受診いただく、あるいは※2#8000の小児救急電話相談に電話いただき、当院受診を勧められたときにご来院いただくと助かります。

小児科ではこれからも地域の子どもの健康を支えられるよう努力してまいります。子どもの健康についてお困りのことがありましたらお気軽にご相談ください。

※1. 平日夜間(月曜日～土曜日(祝日を除く)19:30～22:30)の急な発熱や腹痛など、比較的軽症の急病を対象に診療し、より詳しい検査や、高度な治療が必要な患者さんには二次病院を紹介。桐生メディカルセンター1階(内科・小児科) TEL: 0277-47-2501

※2. 全国同一の短縮番号#8000をプッシュすることで、夜間や休日におけるお子さんの病気への対処方法や、応急処置などを電話で相談できます。(医療行為となる診断や治療を行うものではありません。)

第19回

市民公開講演

テーマ 「知っておきたい、胃がんのこと」

司会

たか はし みつ ひろ
高橋 満弘 (桐生厚生総合病院 副院長兼医療局長兼放射線科診療部長)

講演

① ESDについて (内視鏡的粘膜下層はく離術)

すが ま かず のり
講師 菅間 一乃 (桐生厚生総合病院 内科医長)

② ピロリ菌について

いい だ とも ひろ
講師 飯田 智広 (桐生厚生総合病院 内科診療部長)

日時

平成29年8月26日(土) 14:00～16:00 (開場 13:30)

参加費無料・申込不要です。当日直接会場までお越しください。

会場 桐生地域地場産業振興センター 中3階 第2ホール
(〒376-0024 群馬県桐生市織姫町2番3号)

駐車場 桐生厚生総合病院駐車場または、桐生市市民文化会館立体駐車場をご利用ください。

問い合わせ先 地域医療連携室 TEL 0277-44-7150

主催 桐生厚生総合病院 (地域がん診療連携拠点病院)

第17回

ハッピー健康相談室

皆さまが、日頃疑問に思っていること、困っていることを気軽に相談できる場所として、ハッピー健康相談室を開催いたします。皆さまお誘い合わせのうえお越しください。

日時 平成29年10月3日(火) 14:00～16:00

内容 ①高齢者に多い骨折とその予防

担当：整形外科診療部長 かたやま まさよし 片山 雅義

②今日からできる転倒予防 ～1日10分からはじめよう!!～

担当：理学療法士係長 いづか ふみこ 飯塚 史子



■ 場所：桐生厚生総合病院 1階正面玄関脇 情報コーナー

■ 参加費：無料(事前申し込み不要) ■ 駐車場：無料(桐生厚生総合病院の駐車場をご利用ください)

■ 問い合わせ先：地域医療連携室 TEL0277-44-7150